

(様式例)

令和5年度 社会科 授業改善推進プラン

大田区立安方中学校

1 昨年度の授業改善推進プランの検証

(1) 成果

- ・2学年は、昨年度に比べ地理の正答率が上がった。特に「活用」についての向上が見られた。
- ・3学年は、昨年度に比べ地理の正答率が上がった。2学年同様「活用」の向上が見られた。

(2) 課題

- ・2, 3学年共に、歴史的分野の「基礎」「活用」能力向上が課題である。

2 大田区学習効果測定の結果分析

(1) 達成率 (経年比較)

	令和5年度結果	令和4年度結果	令和3年度結果
第1学年	教科全体 ▽ 基 礎 ▽ 活 用 =		
第2学年	教科全体 ▽ 基 礎 △ 活 用 ▽	教科全体 ▽ 基 礎 ▽ 活 用 ▽ (第1学年時)	
第3学年	教科全体 △ 基 礎 △ 活 用 △	教科全体 = 基 礎 △ 活 用 ▽ (第2学年時)	教科全体 ▽ 基 礎 ▽ 活 用 ▽ (第1学年時)

※すべて目標値との比較。△は目標値を上回っている。＝は同等▽は下回っている。

(2) 分析 (観点別)

① 第1学年

知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
目標値・全国および区平均をそれぞれ下回っている。	目標値、区平均をそれぞれ上回っているが、全国平均を下回っている。	目標値・全国および区平均をそれぞれ下回っている。

② 第2学年

知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
区平均は上回っているが、目標値・全国をそれぞれ下回っている。	目標値と区平均をそれぞれ上回っているが、全国はそれぞれ下回っている。	区平均は上回っているが、目標値と全国平均はそれぞれ下回っている。

③ 第3学年

知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
目標値と区平均をそれぞれ上回っているが、全国はそれぞれ下回っている。	目標値・全国および区平均をそれぞれ上回っている。	目標値・全国および区平均をそれぞれ上回っている。

3 授業改善のポイント（観点別）

(1) 第1学年

知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
ICT 機器を活用し視覚的な教材を多く用いた授業で、生徒の知識・理解を伸長する。タブレットを用いた反復学習やワークや小テストなどの学習到達度の振り返り機会を設ける。	歴史的・地理的事象の因果関係や理由などについて、文章等でまとめ、発表する活動を通して生徒の思考力の伸長を図る。	単元ごとの振り返りやまとめの作業（タブレット学習）を通して、学習法の確認や既習事項の再確認をする機会を設ける。

(2) 第2学年

知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
ICT 機器を活用し視覚的な教材を多く用いた授業で、生徒の知識・理解を伸長する。タブレットを用いた反復学習やワークや小テストなどの学習到達度の振り返り機会を設ける。	歴史的・地理的事象の因果関係や理由などについて、文章等でまとめ、発表する活動を通して生徒の思考力の伸長を図る。	単元ごとの振り返りやまとめの作業（タブレット学習）を通して、学習法の確認や既習事項の再確認をする機会を設ける。

(3) 第3学年

知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
ICT 機器を活用し視覚的な教材を多く用いた授業で、生徒の知識・理解を伸長する。タブレットを用いた反復学習やワークや小テストなどの学習到達度の振り返り機会を設ける。	歴史的・地理的事象の因果関係や理由、公民的分野における自らの考えなどについて、文章等でまとめる活動を通して生徒の思考力の伸長を図る。	単元ごとの振り返りやまとめの作業（タブレット学習）を通して、学習法の確認や既習事項の再確認をする機会を設ける。